

令和4年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価	
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3			児童重点4
			地域のつなげるために、地域	子どもたちとの「身」地近	子育てを推進する	さまざまな課題を抱えるために	課題を抱える親子を早期に見つけ、つなぎ、支える	民生委員・児童委員をいくつかに			児童委員制度やその活
1	下関市	北部第4			○				令和4年6月12日(日)、1日講習8時間コース。応急処置の方法。	【成果】救急車が来るまでの処置の方法がよく理解できた。 【課題】北部第4地区の民生委員の半数しか受講できず、もう少し受講者を増やせればよいと思う。	
2	下関市	菊川			○				令和4年8月22日(月)9時～15時30分、山口県消費生活センターにて視察研修。担当者からの説明や質疑応答があった。参加人数18名。	【成果】オレオレ詐欺から始まった電話等による詐欺被害は、手を変え品を変えてますます巧妙になっている。最近の詐欺被害傾向を聴講し、被害に合わないためのノウハウや被害に合いそうになった場合におけるべき処置等を学べた。 【課題】学んだノウハウを民生委員として日頃から接している高齢者等へ対して周知徹底し、少しでも被害に合わないようにする。	
3	下関市	王司	○	○					民生児童委員の周知のためベストを購入し、研修会、登下校見守り、地域の行事等で着用し、活動をPRできた。	【成果】会員から、ベストを着用して活動したことで、地域や児童に民生児童委員としてPRできたとの声が多かった。	
4	下関市	西部第1						○	民生委員の制度ならび活動発展のため、PRグッズを購入し、定例会や研修会時に利用した。	【成果】会員から、民生委員について、今一度理解することが出来たとの声があった。	
5	宇部市	常盤	○	○				○	・令和4年度より学童保育クラブの運営が、宇部市社会福祉協議会から地域へと移行したことで、地域での児童見守りを強化するため、クリアファイルを作成し、学童、学校、地域等へ配布。(令和4年3月3日) ・常盤地区諸団体、西岐波中学校生徒、常盤小学校児童、他等とときわ海岸の清掃開催。ごみの分別等についても学習。(令和4年7月3日、8時30分～11時)7名参加。 ・研修視察で小野小学校の複式学級の授業参観と小野地区との関わりを学習。児童同士の学び合い、地域と連携し、校内の畑でできた作物(サツマイモ等)を取り入れる等、心のこもった給食への児童の笑顔が素晴らしかった。(令和4年10月24日)11名参加。	【成果】コロナ禍で希薄化した体制の中、事業実現により委員同士の意見交換、地域交流、児童見守り強化等、学ぶべき重点が共通理解できた。 【課題】 ・学童児童への関わりについて、主任児童委員と家族の関わりが深まった。 ・今後、学校、家庭、地域の関わりを深めるためにできる交流を考える。 ・研修視察での学校訪問を今後も実現したい。	
6	宇部市	恩田	○					○	(1)民生・児童委員活動PR、交通事故防止の宣材購入による高齢者(75才以上独居)の見守り、訪問時等で活用。(450個配布) (2)自治会長(福祉委員)との情報共有及び連携を密にし、相互理解を深めるため研修会を実施する。(7月3日開催、民生・児童委員25名、福祉委員30名参加) (3)恩田地区では生活福祉資金利用者が増加傾向にあり、前任、他地区からの引継ぎもあり、理解を深めるため市社会福祉協議会に講師を派遣依頼。(7月6日民児協定例会時開催、25名参加)	【成果】 (1)高齢者による道路横断等による夜間の交通事故防止のため、反射材付エコバッグを配布し、事故防止と民生委員活動のPRを実施した。 (2)福祉委員(自治会長)との合同研修会を実施することにより、連携及び協働をPRした。 (3)「生活福祉資金制度」についての民生委員の役割と関わり方や留意点を学び、理解を深めた。 【課題】 (1)「生活福祉資金制度」利用の返済遅延者に対する民生委員の関わり方で、督促状の持参には疑問が残る。請求事務は社協の役割と考えます。	
7	宇部市	岬						○	令和4年7月6日、岬地区民生委員・児童委員9名で福岡県糸島市の盲導犬訓練センターを見学し、盲導犬や介助犬、視覚障がいだけでなく、さまざまな障がいについて学んだ。盲導犬ユーザーのお話を聴き、パートナーである盲導犬との生活について詳しく知ることができた。訓練センターで実際に盲導犬、介助犬の訓練の様子や、日常生活の中での役割を知ることができ、とても勉強になりました。	【成果】盲導犬や介助犬について詳しく知ることができ、一人ひとり訓練に参加し体験することで、知識の向上につながった。 【課題】さまざまな障がいがあるということについて、知識がないことに気づかれました。相談相手になるにしても、知識なくてはケアできない場合もあるので、今後少しずつでも学んでいかなければと思った。	
8	山口市	吉敷	○					○	・7月26日(火)「小地区見守り活動」 民生委員、福祉員、町内会長、地区老人会等による情報交換及び情報の更新。(19名参加) ・9月29日(木)「吉敷地区民生委員研修会」 鴻南包括センターの方を講師に、民生委員活動の進め方や他機関との連携について学ぶ。(18名参加)	【成果】コロナ禍のため活動が縮小されていたが、中でも時間を短縮して今までの見守り活動や研修会が再開され、課題の解決に向けての情報交換ができた。 【課題】実際の活動時に起こる色々な場面の対応を民生委員・児童委員皆で共有していけると良い。声かけの仕方等も参考になる。	

令和4年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつなげるために、地域	のおともちの「身」地近	する育ち、子育てを応援	たさまびとを支援するため	期に発見し、つなぎを早期に抱える	度を守り、児童委員・児童委員制	動の理解制度やその活		
9	山口市	阿東							○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日時:令和4年10月14日(金)</li> <li>視察先:地域活動支援センター、障害者相談支援事業所 たけのこ村(長門市西深川10845-1)</li> <li>参加者数:15名</li> <li>内容:長門市社会福祉協議会が運営するたけのこ村の施設の概要や各種支援事業について説明を受けた。</li> </ul>	<p>【成果】障害のある方などの社会参加に向けての事業や取組について、現場で生の声が聴けたり、活動を目の当たりにすることができ、大変充実した研修となった。今後、民生委員・児童委員としての資質向上につながる事が期待できる。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスの感染が流行していた時期もあり、参加者が少なかった。</p>
10	萩市	福栄	○	○						<ul style="list-style-type: none"> <li>日時:令和4年11月15日(火)午前9時30分から</li> <li>参加者数:14名</li> <li>内容:日本赤十字社山口県支部血液センターを見学し、血液の重要性、献血の大切さ、血液が人工的にできず保存期間が短いことなどを学ぶ研修を行った。</li> </ul>	<p>【成果】地域住民への献血の呼びかけや、血液の大切さを周知することができた。</p> <p>【課題】福栄地域は高齢化が進み、献血ができる方が少なくなっており、将来に向けて若年層(小中学生など)への周知が必要と思われる。</p>
11	萩市	川北	○						○	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により地域活動が十分にできず、定例会を充実させた。研修を各回実施した。</li> <li>ベストを購入した。(交通安全のため)</li> </ul>	<p>【課題】地域活動を通じて、民生委員の能力を向上させる必要あり。</p>
12	防府市	松崎							○	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)研修旅行 令和4年10月29日から30日 国立療養所菊地恵楓園訪問10名</li> <li>(2)研修視察 令和4年7月12日 救急法講習 23名</li> <li>(3)県、市その他の主催の研修会に参加 令和4年6月20日から令和5年3月22日 新任・現任研修、福祉関係11件42名</li> <li>(4)定例会での研修 毎月1回「民生・児童委員による相談支援、活動のヒント集」「民生委員活動の基礎知識」を基礎資料として順番に。</li> </ul>	<p>【成果】(1)については、参加者が少なかったが、(2)(3)(4)については積極的に参加した。</p> <p>【課題】(2)については、外部との接触がコロナ等で難しかった。(4)については、各地域で様々な問題を抱えており、時間が不足する場合もあった。</p>
13	防府市	中関			○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>(児童重点2) 学校登下校時、毎日都度。見廻り隊として委員の皆が登下校時の見守り活動、挨拶声かけを行った。学校が行う行事に参加して、子どもの支援活動を行った。</li> <li>(重点2) 定例会開催時。介護講習は5回/年。包括支援講義は3回。障害者支援施設の講師による家庭介護教室を開催(5回/年)及びボランティア活動。包括支援センターから講師を招き、福祉に関し講義を受ける。</li> <li>(重点3) 地域が行う行事開催時、都度。地域が行う行事に関係先と連携して活動を行い、民生委員・児童委員活動の理解を深める。(例)福祉弁当を高齢者世帯へ配布予定していたが、コロナ禍により中止となったが、代替えとして、カイロ等を配布。</li> </ul>	<p>【成果】(児童重点2)全委員が地域の実情に通じ、多くの児童生徒と挨拶、交流を深め、健全育成に寄与できた。(重点2)障がい者に対する思いやりの心の涵養と、今後の活動の資を得た。(重点3)コロナ禍で、どうしたら高齢者等の見守り活動ができるか、関係先と連携して実施。高齢者の笑顔に触れることができた。</p> <p>【課題】(児童重点2)「こどもまんなか社会」の実現に向けて、地域の見守り活動を行い、児童虐待、ヤングケアラー等の課題につなぎ役として継続実施する。(重点2)だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、継続して学習を行い、資質の向上をはかっていきます。(重点3)令和5年度はコロナが収まり、地域での行事が例年通りに計画されており、学校、地域、関連先と更に連携して活動を実施していきます。</p>

令和4年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価	
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3			児童重点4
			地域のつなげるために、地域	子どもたちの「身近な」応援となる	子育てを推進する	さまざまな課題を抱える人びとを支えるため	課題を抱える親子を早期に見つけ、つなぎ、支える	民生委員・児童委員をいくつかに			民生委員・児童委員制度やその活動の推進のために
14	下松市	久保	○	○	○				<p>【事業内容】                      中学校「こみすクラブ」生徒が企画立案した新1年生歓迎と新型コロナウイルス感染拡大終息を願い「鯉のぼり」掲揚企画を久保民生委員児童委員協議会、地域の皆さんで支援活動実施。                      ※「こみすクラブ」とは中学生ボランティアの名称。学校と地域行事等を繋ぐ役目、将来ふるさとの担い手として活動展開中。</p> <p>【目的】                      ・民生委員・児童委員（主任児童委員含む）活動で「地域の子ども」は地域で育てる。                      ・民生委員・児童委員として「でしゃばるおじさん・おばさん」を目ざす                      ・令和4年3月22日、第5回「こみすクラブ」鯉のぼり掲揚企画。以後3回会議。                      ・令和4年4月8日、地区定例会で中学校教頭先生から正式に協力依頼あり。                      ・地域の方より102匹奇贈。                      ・鯉のぼり設置作業：4月23日、撤収作業：5月14日                      ・設置、撤収参加者：民生児童委員19名、地域・PTA20名。                      ・学校で鯉のぼりが泳ぐ期間4月28日～5月10日</p>	<p>【成果】                      ・コロナ禍で、地域の子どもたちに思い出と、学校運営協議会と連携することで学校を核とした地域づくりと、我がふるさと地域の担い手として中学生を含めた児童健全育成に寄与する。                      【課題】                      ・中学生ボランティアは土・日曜日は部活等で地域行事参加に制約があり、現状のスタイルは…一考願います。</p>	
15	岩国市	由宇	○						<p>1.学童・町民に向けた挨拶運動を推進する。                      (1)挨拶運動の幟旗を作製。                      (2)各学校(小学校3校、中学校1校)の校門前での立哨声かけ活動を推進。1回/月。                      (3)町内10か所に幟旗を設置し、民生委員児童委員協議会活動を町民参画型で推進。                      2.新体制の民生委員児童委員の紹介及び活動内容のPRチラシを作製し、全世帯に配布し知名度UPを推進。</p>	<p>【成果】                      1.学童への挨拶運動については、先生方、生徒代表と共に立哨することで、つながりの意識が向上しました。挨拶の声も少しずつ大きくなりました。学校からも感謝の声をいただき、今後も挨拶運動は継続します。                      2.民生委員児童委員PRチラシについては、チラシを見たよとか、声をかけられることが増してきました。少しでも認知度が向上したと思います。                      【課題】                      1.学校との連携は、満足できる結果でしたが、町民参画型としては、町民との連携は、少し不十分であったと思います。</p>	
16	岩国市	玖珂	○						<p>(1)子ども食堂の運営に関し、資金面の支援を実施。                      令和4年度年間使用する容器代、割り箸、衛生用品の購入代金の補助をした。                      (2)民生委員の資質向上のため民生委員支援関連図書を購入し、委員全員でハンドブックとした。                      購入図書①民生委員のための子ども・子育て支援実践ハンドブック                      ②民生委員のための地域福祉活動実践ハンドブック                      ③民生委員のための相談面談ハンドブック                      ④民生委員のための障害者支援ハンドブック                      ⑤民生委員のための高齢者支援ハンドブック                      ⑥民生委員のための経済的困窮者支援ハンドブック</p>	<p>【成果】                      (1)玖珂町のボランティア活動である、子ども食堂団体運営の資金難支援ができたことにより、令和5年度の運営継続に目途がたつた。                      (2)民生委員関連ハンドブック購入により、委員が日々活動を手探り状態で行動している中、活動指針となる手引きとなった。                      【課題】                      (1)子ども食堂への民生委員としての関わり方の検討。                      現在主任児童委員のみの対応となっているが、他の民生委員としてのサポート及び対象者への課題抽出と解決への積極的関わり。</p>	
17	岩国市	周東	○						<p>担当地域のお一人暮らし高齢者へメッセージカードを配布。令和4年3月事業計画案で承認。令和4年4月、11月の企画組織部会で詳細を検討。令和4年12月印刷業者に依頼し作成。各委員により宛名書き等を行い、委員改選期ということもあり、自己紹介を兼ね、基本訪問で配布。定例会欠席者には依頼文を添えて送付。委員不在地区は事務局により対応。民生児童委員数43名、配布数約1,000枚。</p>	<p>【成果】                      地域の独居高齢者との関係づくりに役立てることができ、また気軽に相談できる体制づくりにもつながった。                      【課題】                      単年度事業ではなく継続した事業として検討を行うため、財源の確保に努める。</p>	

令和4年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価		
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3			児童重点4	
			地域のつなごうを高めるために、地域	子どもたちとのつながり、身近な	子育てを応援する	さまざまな課題を解決するために	課題を抱える親子を早期に見つけ、つなぎを支援する	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために			児童委員制度やその活動の推進を図る	
18	光市	第5						○	1 大島郡周防大島町防災センターの見学及び体験研修を実施した。 2 多目的ホールを借用し、民生委員の手引きを全員で読み合わせをして、民生委員の使命、役割を再認識した。	【成果】民生委員全員が児童委員であることの再確認をした。また、民生委員は災害時、まず、自分の命を守ることを最優先するとの認識で一致した。 【課題】民生委員制度を維持するためには、民生委員の業務を市民の皆様理解していただかなければ、なり手がない。残念ながら結論は出なかったが、有意義な意見も出て、活発な議論が行われた。		
19	長門市	三隅						○	○	地区イベント参加 地区内で行われるイベント(みすみふるさとまつり)に参加し、地区住民との交流を図り、イベントでの実演販売の際に啓発物品を配布し、民生・児童委員への理解を促進した。 日時:令和4年10月17日(日)9:30~14:00 内容:たい焼き実演の販売及び啓発物品の配布	【成果】揃いのポロシャツとエプロンを着用してみすみふるさとまつりに参加し、まつりの来場者に啓発物品を手渡すことにより、民生委員・児童委員への理解を促進することができた。	
20	柳井市	日積	○					○		○	民生児童・児童委員制度やその活動への理解促進を図る。	【成果】 12月に開催される地域のイベント「ひづみまつり」にて民生委員・児童委員のPRをすることにより、地域住民や児童クラブ支援員とのつながりを強化するとともに、民生委員・児童委員制度やその活動への理解を促進する。
21	美祢市	豊田前						○			地域住民の方に活動を知っていただくため、パンフレットを全戸配布する。 ・委員制度紹介パンフレットの購入(600部購入) ・地区内560世帯 ・10月から12月にかけて委員7名で個別配布し周知を図った。 65歳以上の見守り対象者に対し、冬におきる事故防止「風呂場での事故」「水道管破裂」等、年末に注意喚起を図る。 ・対象者103名 ・12月に委員6名により受け持ち地区内の対象者に声掛け時に「カイロ」を配布。 サロンを開催している地区の責任者に「クリアファイル」を配布し、制度の周知を図った。 ・対象5地区 ・10月から11月にかけて7名で配布	【成果】 ・集中して配布等したので、豊田前地区の方々に周知できた。 ・「カイロ」は、とても喜ばれた。冬の施策として良かった。 【課題】 ・配布だけで終わったかもしれない。 ・時期が同じころになってしまい、年間でできれば良かった。
22	周南市	桜木		○				○			①桜木小学校支援学級の生徒と家族で、餅つき大会を実施。 実施場所:桜木市民センター 実施日:令和4年12月11日 9時30分から11時30分 参加人数:小学生・父兄・家族17人、先生3人、民児協14人 計34人 ②小学校挨拶運動、地域の訪問、見守り、活用できる地区民児協ワッペンの作製。 夜市地区・桜木地区交流研修会にワッペン着用 はあとキッズ新山口視察研修にワッペン着用 小学校挨拶運動にワッペン着用	【成果】 ①つきたての餅を真剣に丸めたり、お手伝いをして家族・先生との信頼、さずなを深めることが出来ました。 ②桜木民児協の一体感とスキルアップが出来ました。 【課題】 特にありませんでした。

令和4年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価		
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3			重点3	児童重点4
			地域のつなげるために、地域	子どもたちの「身」近	子育てを推進する	さまざまな課題を抱える	課題を抱える親子を早期に見つけ、つなぎ、支える			民生委員・児童委員制	児童の理解制度やその活
23	周南市	菊川		○				○	<p>①菊小との連絡会を3回/年開催し、担当地区の児童の学習及び生活実態を把握した。</p> <p>②放課後子ども教室「きくがワハクラブ」にサポート役として5名の委員が参加し、児童とのふれあいを持った。(長期休暇期間を除く毎週水曜日)</p> <p>③菊川地区の中において特に過疎化の進む地域について、今後の見守り活動のあり方を検討するために『中野・八剱』と『小畑』の2つの地域を訪問(地域探訪)して生活実態調査を行い、担当地域の異なる委員間で共通認識を持った。</p> <p>④菊川民児協のネーム入りチョッキを製作し、安全点検を含めた通学路の清掃などの協議会活動の場で活用し、民児協のPRIに役立てた。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が約7,800人の菊川地区は、市街地に近い地域から過疎地域まで幅広い地域を16人の委員が担当している。</li> <li>『地域探訪』の実施により、委員全員が地域の様々な課題を認識し共有することが出来た。</li> <li>・菊川民児協のネーム入りベストは組織内外から好評で、民児協交流事業や通学路の安全点検時の着用などで大いに役立った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の校外内における生活の実情を共通認識するために、保、幼、小、中学校関係者等による『菊川地区郊外補導連絡協議会』が毎年長期休暇前に開催され、民児協代表と主任児童委員が出席して情報交換を行ってきたが、コロナ禍以来3年間開催されていない。</li> </ul>	
24	周南市	熊毛	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回(6月、3月)広報誌「のびのび通信」1500部発行。熊毛地区の幼稚園保育園、小学校、地域に配布し、子育て応援活動をした。夏8月、秋11月の地区市民センターまつり、12月子育てサロン、1月どんど焼き、2月子育て講座に、スタッフジャンパーや幟端を掲げて参加し、PR啓発をした。また、地域の小学校の入学式で、ノートや啓発グッズを贈った。(児童福祉部会)</li> <li>・6月8日、特別養護老人ホーム天王園の花壇整備を支援した。鍬等も持参して整地・花苗を植えこんだ。また、今年度から民生委員用のスペースをいただき、そこにも花苗を移植した。部会員に農業従事者がおられ、野菜苗も支柱立て・敷き薬も行い、プロの出来映えとなった。(地域福祉部会)</li> <li>・部会や校区会の事業の進捗状況を把握し、事業の取りまとめと広報用のDVDを製作した。(企画組織部会)</li> <li>・苗床トレーやポット、培養土を提供し、9月8日県教育会熊毛支部の吉松様の指導の下、委員と児童でビオラの種蒔きをした。途中の育苗はコロナ禍のため児童との共同作業はできなかったが、3月8日たくさんの花をつけたビオラを委員と児童で独居高齢者にお届けした。(大河内校区会)</li> <li>・12月24日、恒例の「ふれあい塾」を3年ぶりに開催し、児童と委員とで凧作りをし、風揚げを楽しんだ。また、2月11日、(株)トクヤマより講師を派遣していただき、学校や地域だけではできない面白化学実験をみんなで楽しんだ。(三丘校区会)</li> <li>・7月22日、「かつまよいち」で民児協ブースを設け、小・中・高校生ボランティアと共にヨーヨー・ボールすくいを実施した。また、ベスト着用と幟旗を掲げて子育て世代の方々にチラシと粗品を手渡し、民児協のPRをした。さらに、8月21日、11月13日、1月7日通学路周辺の草刈りを実施した。(勝間校区会)</li> <li>・9月14日～高水まつり参加への企画会議をスタートさせ、10月29日民児協として駄菓子屋開店。パンフレットや、熊毛民児協広報誌「のびのび通信」を手渡し、民児協の周知活動を展開した。(高水校区会)</li> <li>・小学校の花いっぱい大作戦に参加し、児童と一緒に種蒔きからプランターへの移植をした。また、野菜の収穫作業を共にし、児童や教職員との交流を深めた。(八代校区会)</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童委員として、子どもたちが安心して育つことのできる地域づくりをしていることを理解してもらうことができた。また、「のびのび通信」の発行で、子育て情報を提供することができた。</li> <li>・天王園の職員との共同作業でスムーズに作業が進み、入所者、利用者に安らぎを与えることができた。</li> <li>・本事業内容をDVDで記録することで、熊毛地区民児協の活動の特色と意義や良さ、楽しさを分かりやすく理解してもらうために効果的であった。</li> <li>・児童との共同作業で民生委員・児童委員の存在を周知することができた。事前に配付を通知したことで多くの方が待ってくださり、喜んでもらった。また児童の福祉への貢献活動を支援することができた。</li> <li>・児童と共にする活動で、授業参観では解らない児童一人ひとりの性格が解り、見守りなどの際に役立った。</li> <li>・ジャンパー着用、幟旗、チラシ配布の啓発活動は恒例となっており、民児協活動の周知が深まっている。</li> <li>・準備段階から関係団体との交流もでき、当日は感染対策をしつつ熊毛民児協のブルゾンを着用し啓発活動ができた。</li> <li>・一緒の作業を重ねるたびに関係性が一層近くなったし、成長過程を応援することができるようになった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域に出ることに制限があり、子育て中の親達への浸透が十分にはできなかった。</li> <li>・花壇整備支援として、今後は除草作業のお手伝いも必要である。</li> <li>・DVD作成では絵コンテ等による指示等が不足し、写真や動画資料が十分に揃わなかった。</li> <li>・コロナ禍で委員の学校訪問に制限がかかり、水遣り等の共同管理作業がほとんどできなかった。少子高齢化で全対象者に児童と訪問できず、事業の継続に工夫改善が求められる。</li> <li>・コロナ禍で、学校や指導者との打合せや調整が、今後も重要となる。</li> <li>・校区が広く、多くの団地を抱えており、コロナ禍も拍車をかけ、一人ひとりの子どもたちの把握が十分にできない。</li> <li>・参加者が予想以上に多く、準備した駄菓子が早々に完売してしまった。</li> <li>・継続した活動にするためには、アイデアを生み出して実践したい。</li> </ul>		

